

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

お正月が明け、薬学生は学内試験や薬剤師国家試験に向けた勉強生活が始まりました。近年の薬学部卒業試験の難易度は大学によってさまざまですが、一般的に難しくなっています。昨年度は卒業延期生が全国で約1,500人も出てしまいました。全国の薬学部6年生が約1万人のため、1割超の学生が卒業延期になったということです。また、卒業できた学生のほうが少ないという大学も出ています。

国家試験に合格するレベルの学生を卒業させたいという大学の気持ちは分かりますが、卒業試験で燃え尽きてしまい、「卒業できたから、もういいや」と思ってしまう学生も増えていることが気になります。卒業試験に合格した勢いのまま、国家試験まで突っ走ってほしいと思います。なぜなら、前回の国家試験では新卒の合格率が85.2%だった一方、既卒（卒業延期生や国試リトライ生）は40.8%と、合格確率が半分以下になるからです。ちなみに、メディセレは既卒生が通う国家試験予備校ですが、メディセレ生の合格率は85.7%でした。

既卒の合格率が芳しくないということは、予備校に通っても合格できない学生が多いことを意味します。そのため、新卒で国家試験を受けて合格できるように頑張ることを、実習に訪れた学生に指導していただくと幸いです。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子